

教育の情報化推進部会の取組

2024.1.31

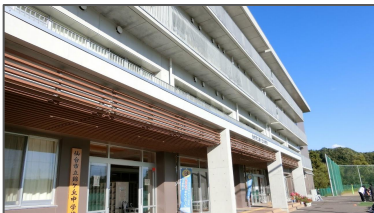
第3回仙台市GIGAスクール推進協議会



仙台市教育委員会

令和4年度に策定された「仙台市学校教育情報化推進計画」に基づいた「令和5年度仙台市学校教育情報化推進計画 行動計画」について、以下の2事業(4校)での授業の開発を通してその計画を実践するとともに、実践内容について成果と課題を検討、整理し、その途中経過や成果をGIGAスクール推進協議会で報告するとともに市内全校で共有できるようにする。

教育の情報化推進部会



リーディングDXスクール
(文科省実証研究事業)

【指定校】
錦ヶ丘小学校
錦ヶ丘中学校

STEAM Lab実証研究
(ダイワボウ情報システム株式
会社、宮城教育大学との協働
実証研究)

【設置校】
川平小学校
中山中学校





リーディングDXスクール 今年度の取組 錦ヶ丘小学校

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した授業実践

- 5/25 第1回校内研究全体会 6年 社会「国の政治の仕組みと選挙」 5年 社会「低い土地の暮らし」
4年 国語「走れ」 2年 国語「ことばで絵をつたえよう」
- 7/12 第2回校内研究全体会 5年 社会「米づくりのさかんな地域」 4年 社会「防災」
4年 国語「たしかめながら話を聞こう」 2年 国語「文章のちがいを考えよう」
- 12/20 第3回校内研究全体会 5年 国語「こえに出してよう」 5年 社会「情報を生かす」

※6年生の2クラスは学級閉鎖のため延期(2月20日実施予定)

②動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実践

- ・オンラインヤクルト工場見学
- ・地域の方からのオンライン講話(防災教育)

③端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等

- ・デジタルドリルの活用
- ・クラウド環境を活用した家庭学習(授業と家庭学習の往還)

④校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・職員研修

- ・職員室と各教室のチャットによる連絡(児童の欠席や家庭への確認等)
- ・職員室内デジタルサイネージの活用

⑤実践内容を動画・写真・研修のオンライン公開などにより地域内外に普及

- 10/19 LDXのサイトに取組実践の掲載
 - 10/26 視察受入(北海道:遠軽高校 鳥取:教育センター 他多数)
 - 12月 LDXのサイトに中間報告掲載
 - 1/16 LDX事務局による授業実践動画撮影(完成次第展開)
- (随時)学校ホームページによる情報発信
(今後の予定)

2/28 GIGAスクール推進担当者研修会で実践発表



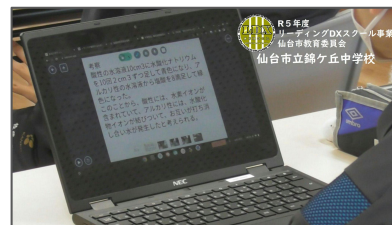
リーディングDXスクール 今年度の取組 錦ヶ丘中学校

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した授業実践

8/29 中3 理科「化学変化とイオン」

9/5 中2 社会「地理(アジア州)」

12/4 中1 国語「不便の価値を見つめ直す」 中2 技術「材料と加工(木材)」



②動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実践

9/5 職業講話 ごんきや(端末・ネットワーク活用 学びの連携推進室)

9/7 出前授業 文化財課

③端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等

6月より日常的な持ち帰りの実施(navima活用)

修学旅行や文化祭等の実行委員会におけるクラウドを活用した取組

④校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・職員研修

8/21 対話的・協働的な職員研修実施 9/13 ロイロ・ノートスクール操作研修

⑤実践内容を動画・写真・研修のオンライン公開などにより地域内外に普及

10/26 視察受入(北海道:遠軽高校 鳥取:教育センター) 12月 LDXのサイトに中間報告掲載

2/28 GIGAスクール推進担当者研修会で実践発表





STEAM Lab設置校 今年度の取組 川平小学校

①全学年、学級のSTEAM Lab(プログラミング教材を含む)活用(予定を含む)

- | | | |
|----------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1年生の活用 | 生活 | CM鑑賞会(交流のある未就学児向け学校PR) |
| 2年生の活用 | 算数 | 長方形と正方形(Adobeイラストレーター・レーザーカッター) |
| 3年生の活用 | プログラミング学習(PC プロジェクタ アーテックロボ2.0等) | |
| | 算数 | 円と球 |
| 4年生の活用 | 図画工作 | ゆめいろランプ(アーテックロボ2.0) |
| 5年生の活用 | 図画工作 | オリジナルメダル制作(CAD・3Dプリンタ) |
| | | 家紋入り名札制作(Adobeイラストレーター・レーザーカッター) |
| | 家庭科 | ランチョンマットへのイニシャル刺繍(コンピュータミシン) |
| 6年生の活用 | 図画工作 | 卒業制作 |
| 特別支援の活用 | 生活単元 | ゲームセンターを作ろう(アーテックロボ2.0) |

②次年度に向けたLab活用カリキュラムの作成

生活・総合的な学習の時間(ダイワボウとの顔合わせ)

③レイアウトの工夫

- ・モニタとバッテリーを配置したアクティブラーニングルームの検討
- ・プロジェクタとPCを配置したプレゼンテーションルームの検討

④研修関係

- ・機器操作研修(一般企業 教育指導課)
- ・STEAM教育推進研修(教育センター 安藤教授)
- ・授業づくり訪問との連携
- ・先進校視察(埼玉県戸田市)



STEAM Lab設置校 今年度の取組 中山中学校

①STEAM Lab(プログラミング教材を含む)の活用実践

- 教職員の活用 職員会議や親の会、各種研修会での活用(PC プロジェクタ 3Dプリンタ)
- 1学年の活用 総合的な学習の時間 映像編集(Adobeプレミアプロ)
国語 生徒が詠んだ俳句を印字(Adobe IR レーザーカッター)
- 2学年の活用 総合的な学習の時間 野外活動の学習を生かしたキャラクター作成(3Dプリンタ)
- 部活動での活用 パソコン部 Labの表示制作(Adobe IR レーザーカッター)
季節のオブジェ制作(3Dプリンタ)
- 行事での活用 文化祭の景品や表彰メダル、盾等の制作(Adobe IR レーザーカッター)
- 別室登校での活用 (3Dプリンタ)

②次年度に向けたSTEAM教育(総合的な学習の時間)カリキュラム作成

クラウドと端末を有効に活用して時間を創出し、生み出された時間で探究学習に取り組む(町内会とのコラボ、活性化に向けて)






③レイアウトの工夫

- ・活用の場面に応じて随時レイアウト変更しながら最適化を図る
- ・不足分のパソコン用チェアを購入
- ・パソコンデスク等の購入予定(次年度)

④研修関係

- ・有識者による指導助言(安藤教授 稲垣教授 板垣准教授 岡本講師)
- ・STEAM教育推進研修(教育センター)・先進校視察(埼玉県戸田市)



仙台市学校教育情報化行動計画	成果	課題
 1-(2)-1 個別最適な学びの推進 指導の個別化、学習の個性化)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業実践及び校務利用等の様子をリーディングX事業のサイトや、仙台市のサポートサイト等で広く発信することができた。 ※2/28実施のGIGAスクール推進担当者研修会でも取組を全市立学校へ発信する 	<ul style="list-style-type: none"> ・汎用的なソフトウェア限定の事業であるため、仙台市で導入している授業支援クラウド(ロイノート・スクール)やデジタルドリル(havima)の活用推進を図ることができない。
 (2)-2 協働的な学びの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・研修及び授業づくりへの支援を充実させることで、授業や家庭でのクラウドや1人1台端末の活用促進を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の授業構想力の向上、及び、授業観のアップデートが必須であるため、実践例を見るだけでは再現ができない可能性がある。
1-(2)-5 先端技術の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の創造力や学習意欲の向上が図られた。 ・教職員の授業構想や児童生徒の学習活動、表現活動の幅が広がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・STEAM Lab設置校に導入している機器から、それぞれの活用場面や頻度、有用性等を検証し、全市展開に向けての検討が必要である。
1-(3)-2 多様なニーズに対応するためのICT活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進的なICT関連機器やそれを活用した授業が不登校や別室登校している児童生徒の学習意欲につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の機器操作やプログラミング教育に対する知見及びスキル向上のための研修が必要であり、そのための時間の捻出が課題である。
1-(3)-3 特別支援教育におけるICT活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の児童に対しても、プログラミング教育がとても有効であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市で導入している教材に加え、各校に必要なパーツを購入する事により、より学習の幅が広がる。

令和6年度 教育の情報化推進部会の方向性について(案)

①仙台市で導入している教材で、GIGAスクール構想をさらに推進させるための検証及び情報発信を行う

A:授業実践

- ・授業支援クラウド 【ロイロノート・スクール】
- ・デジタルドリル 【navima】
- ・大型提示装置(検証) 【天井設置型プロジェクタ・大型モニタなど】

B:校務効率化

- ・アンケート集計ソフト 【Answer Box Creator】

②今年度のつながりから

A:リーディングDXスクール事業(小中や学校間連携が活発な校区想定)

汎用的なソフトウェア活用の観点からも部会での報告及び情報発信は継続

B:STEAM Lab実証研究

先進的な取組としての部会での報告及び情報発信は継続

レイアウト変更や機器の活用率等の調査を行い全市展開の検証

①指定校(協力校) 西多賀中学校(金剛沢小学校)

②研修会

11月 教育センターが作成した動画によるオンデマンド研修(各自)

12/14 菅原弘一特任教授(宮城教育大学)を招聘し、西多賀中学校を会場に研修会の実施

【参加者】

- ・西多賀中学校 教職員 12名
- ・金剛沢小学校 教職員 3名
- ・西多賀小学校 教職員 1名
- ・教育センター 3名
- ・教育指導課 5名

③今後の予定

・教育センターが作成した指導案(例)を参考にした授業実践

1/17、19 金剛沢小学校 6学年

1/18、23 西多賀中学校 2学年

※授業実践後、教育センターで指導案を修正し、全市に展開

- ・生成AIを活用した英作文添削ソフトの実証研究(TOPPANホールディングス株式会社)
- ・2/20 リーディングDXスクール(生成AI)成果報告会への参加(東京)
- ・先進校視察

教育の情報化推進部会の取組

2024.1.31

第3回仙台市GIGAスクール推進協議会



仙台市教育委員会